

令和7年度 中央工学校 運営計画

1. 建学の目的と学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

中央工学校は、明治42年(1909年)「工業技術を教授し、もって実務的な技術者を養成する」ことを目的として設立された。校是を「堅実」とし、「厳しい実務教育」と「人間涵養教育」による正しい職業観の育成に努めている。また、学習指導の重点を「理論より実際」とし、「誠実で社会性豊かな技術者」を育てることを不変の使命とする。

よって本校が求める人材像は、

- ・自らの技術により自立を志す者
- ・協調性をもち人とかかわりを大切にする者

であり、これをもって学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)と定める。

2. 基本的運営方針

- (1) 実技・実習による「厳しい実務教育」を教育の中核とする。
- (2) 「人間涵養教育」により豊かな社会性を有する技術者を育成する。

3. 令和7年度 重点管理指針

- (1) 「厳しい実務教育」「人間涵養教育」の推進
- (2) 「学校運営」の再構築
- (3) 「学校教育法の一部改正」への対応

4. 具体的方策

(1) 「厳しい実務教育」「人間涵養教育」の推進

ア. 厳しい実務教育

学校内での講義や実習だけでなく、即戦力として必要な実務に即した学外での実習を実施する。また、企業と連携して実務研修(インターンシップ)を推進する。

(ア) 工業第一教員室(建築、インテリアデザイン)

- ・総合建設実習(必修) 建築学科・建築工学科・建築設計科・木造建築科・建築設備設計科
- ・施工管理実習(必修) 建築学科・建築工学科
- ・内装施工管理実習(必修) 建築室内設計科
- ・木造建方実習(必修) 木造建築科
- ・伝統建築調査(必修) 木造建築科
- ・地域密着型実践教育(必修) 建築学科・建築工学科・建築室内設計科
- ・東京都職業能力開発協会による専攻実習(必修) 建築学科・建築工学科 施工専攻

(イ) 工業第二教員室(土木、測量、3DCAD)

- ・総合建設実習(必修 足場・地盤・下水道・型枠施工・鉄筋組立) 土木建設科
- ・総合測量実習(必修) 土木建設科・測量科・地理空間情報科・土木測量科

(ウ) 商業・文化教員室(情報ビジネス、リベラルアーツ、グローバル)

- ・インターンシップ(特別選択) 情報ビジネス科
- ・異文化コミュニケーション(必修) リベラルアーツ科・グローバル科
- ・ビジネスプランニング(必修) 情報ビジネス科

イ. 人間涵養教育

(ア) 軽井沢合宿研修

社会人として必要な集団規律やコミュニケーション能力の向上、また、日本文化の理解と継承などを目的に、全学生必修の軽井沢合宿研修(2泊3日)を実施する。

(イ) 生活指導

生活指導主事を中心に、通学時のマナー指導や挨拶運動(8時50分～9時10分、下校時)とともに、校舎や教室の美化に対する指導も実施する。

(2) 「学校運営」の再構築

ア. 「令和10年度に向けた中央工学校 中期計画」の実行

3年後を見据え、「設置科構成」「定員」「学費」「校舎使用計画」「単位制導入」などの学校運営について、具体的な計画を策定し実行する。

イ. 令和8年度の学則変更

- ・募集停止 工業専門課程 建築工学科(3年制)
- ・新設 工業専門課程 二級建築士専科(昼間1年制) 入学定員60名
- ・学則定員 昼間1,350名 夜間200名 総定員1,550名

ウ. 学籍異動者減少への対応

日常の出席状況や学習態度、また、新入生を対象に実施する自己発見検査やスクールライフアンケートの結果を有効活用し、個々の学生に合わせた指導を心掛け学籍異動者の減少を図る。合わせて、「スクールカウンセラー」の導入なども検討する。

(3) 「学校教育法の一部を改正する法律」への対応

令和8年4月1日施行の「学校教育法の一部を改正する法律」に定められた以下の措置に対する対応を検討する。

ア. 大学等との制度的整合性を高めるための措置

イ. 専門課程修了者の学修継続の機会確保や社会的評価の向上のための措置

ウ. 教育の質の保証を図るための措置

(4) 継続して運営する重要事項

ア. 法令等の遵守による適正な学校運営

(ア) 授業時間数の確保と曜日毎の均等化

- ・計画休日の実施 5月1日(木)・5月2日(金)【昼間】
10月28日(火)・10月29日(水)
- ・祝日授業の実施 4月29日(月：昭和の日)
7月21日(月：海の日)【夜間】
9月23日(火：秋分の日)
10月13日(月：スポーツの日)
11月3日(月：文化の日)
11月24日(月：勤労感謝の日の振替休日)
2月11日(水：建国記念日)
- ・曜日変更の実施 5月1日(木)は月曜日の授業を実施【夜間】
5月2日(金)は火曜日の授業を実施【夜間】
5月7日(水)は火曜日の授業を実施【昼間】
- ・週末授業の実施 建築科、土木測量科(年間10日前後)

(イ) 個人情報管理(個人情報管理責任者：各部署責任者(課長・室長))

学生や保護者等から提出された個人情報については、法令を遵守し厳重に管理する。また、運用システムに関する個人情報漏洩防止対策を徹底する。

(ウ) 禁煙指導の徹底

改正健康増進法等により、指定喫煙所以外では全面禁煙とする。また、未成年者の禁煙指導を徹底する。

(エ) 授業目的公衆送信補償金制度

著作権法に定められた「授業目的公衆送信補償金制度」を遵守するとともに、映像等の録画・録音及び二次使用などについても適切に管理する。

(オ) 合理的配慮の提供

障害者差別解消法に定められた「合理的配慮の提供」や「不当な差別的取扱いの禁止」に則り、申請者に対して適切に対応する。

イ. 「誇りある学校づくり」の推進

(ア) 新入生歓迎イベント

新入生を対象とした学科やクラス単位でのレクリエーションを実施する。

(イ) 第 59 回 飛鳥祭

10 月 25 日(土) ～ 26 日(日)

(ウ) クラブ・同好会活動

- ・運動系(空手道、山岳、卓球、野球、バドミントン、硬式テニス、サッカー、スノーボード、軟式テニス)
- ・文化系(建築倶楽部、模型同好会、クリエイターズサークル、軽音楽部、イベントサークル)

(エ) 研修旅行

- ・工業第一教員室：国内研修(建築) (特別選択 秋季実施予定)
国内研修(デザイン) (特別選択 時期未定)
海外建築研修 (特別選択 時期未定)

(オ) 学生作品の展示

- ・RISE 4 階 建築関連学科
- ・RISE 3 階 インテリアデザイン科、土木測量関連学科、3DCAD設計科
- ・STEP 4 階 各種イベント展示

(カ) 中央工学校歴史館の見学(新入生対象)

- ・母校の歴史と伝統を学ぶ機会とする。

(キ) 中央工学校 同窓会

- ・在学生を対象とした支援や助成活動(各種学校行事)
- ・各地域の同窓会活性化による卒業生推薦募集の推進
- ・卒業生を招いた講演会やパネルディスカッションの開催
- ・卒業生を対象とした母校見学会(王子校舎、軽井沢研修所)などの開催

ウ. 職業実践専門課程の実質的運営

認定学科 11 学科(昼間 9 学科、夜間 2 学科)

学校運営全般を評価する「学校評価(自己評価・学校関係者評価)委員会」と教育課程全般を評価する「教育課程編成委員会」からの指摘事項などに対し、学校全体で改善に努める。

エ. 留学生指導と在籍管理の徹底

出入国在留管理庁からの指導に従い、在学中の修学支援や資格外活動の管理などを適切に行う。

オ. キャリアプランに応じた進路指導

(ア) 進路指導

クラス担任と就職指導課のダブルサポートにより、多様性社会に対応した幅広く細やかな進路相談(キャリアカウンセリング)を行う。

(イ) 就職指導

本校学生専用の就職支援ポータルサイト運用と学外専門サイトを活用し、優良企業の求人票や情報の提供、個別紹介を重点に充実させる。

- ・就職指導ガイダンス(年3回)や各種講習会の実施(WEB開催、希望制)
- ・就職模擬面接の実施(2~3月クラス別、個別希望制)
- ・進路決定調査、アンケートの実施
- ・企業面談と企業訪問および情報交換会への参加により1,000社と面談実施
- ・求人票の依頼と受付、公開
- ・実務研修(インターンシップ)等の企業連係

(ウ) 進学指導

クラス担任と教務課により、上位資格の取得や技術・技能の専門深化を図る学内進学、再入学、大学編入学や大学院進学などの進学指導を行う。

(エ) 留学生の進路指導

- ・工業専門課程 クラス担任、教務課(留学生担当者)、就職指導課
- ・商業実務専門課程及び文化・教養専門課程 商業・文化教員室(クラス担任)

(オ) 中央工学校 人材育成後援会

学生を支援する企業約460社の後援会を運営し、合同企業説明会(3月、5月の年2回)や総会などを開催する。

カ. 教職員の資質向上のための研修

実務教育を行う教職員には、新しい知識や技能の習得、資格取得が不可欠であることから、以下に記載の研修などにより自己研鑽に努める。

(ア) 職業実践専門課程の認定に係る研修

- ・専攻分野における実務に関する研修
- ・指導力向上のための研修
- ・学校運営に関する研修

(イ) 新入教職員研修

- ・学内研修
- ・外部研修

(ウ) 中堅教職員研修

- ・外部研修

(エ) 教員研修

- ・教員室による研修発表会(随時開催)
- ・教員研修発表会【8月1日(金)】

(オ) 校外研修

- ・関連業界や企業等が開催する技術講習会や研修会
- ・実務型研修会の実施(工業第一教員室)

キ. 積極的広報による入学促進

キャンパス全体が「巨大な教科書」校舎は生きた教材をストロングポイントとする積極的な広報を図るとともに、年間イベント回数を約70回とし、イベント参加者数の増加を図る。

- ・一日体験入学
- ・半日体験入学
- ・学校説明会
- ・オープンキャンパス
- ・オンライン学校説明会
- ・保護者対象学校説明会
- ・1stSTEP 体験入学
- ・ミニ体験&オープンキャンパス
- ・学校説明会 in 軽井沢研修所
- ・夜間個別入学相談会
- ・専門学校進学説明会
- ・高校訪問(職員・在校生による訪問を含む)

5. その他

(1) 学修成果の公開【令和6年度実績】

ア. 学修成果の発表の場を広く求め公開

- ・第24回 専門学校卒業作品展示会
- ・第47回 学生建築設計優秀作品展
- ・第33回 JIA 東京都学生卒業設計コンクール

イ. 学修意欲高揚を目的として各種コンペティションへ出展

(ア) 工業第一教員室(建築、インテリアデザイン)

- ・第22回 主張する「みせ」学生デザインコンペ
- ・専門学校卒業作品展示会ポスターコンテスト
- ・建築学縁祭～Rookie 選～
- ・第36回 丹波の森ウッドクラフト展
- ・第19回 若年者ものづくり競技大会(建築大工)

(イ) 工業第二教員室(土木、測量、3DCAD)

- ・「くらしと測量・地図」展
- ・YSフェア

(ウ) 商業・文化教員室(情報ビジネス、リベラルアーツ、グローバル)

- ・第21回 ビジネスプロデュースコンペティション

(2) 在学中の資格取得(チャレンジプロジェクト)

在学中の資格取得を目指すことを目的としたチャレンジプロジェクトを推進するとともに、引き続き取得率向上に向けた指導体制の強化を図る。また、教育内容に特化した資格取得の他、社会人として必要な知識の向上を目的とした資格取得を、学生全員が取り組むことを推進する。

ア. 学校全体で取り組む資格

- ・2級施工管理技術検定(建築・管工事・土木)
- ・ビジネス能力検定(2級・3級)

イ. 工業第一教員室(建築、インテリアデザイン)

- ・1級施工管理技術検定(建築・管工事)
- ・福祉住環境コーディネーター(2・3級)
- ・2級リビングスタイリスト
- ・色彩検定(2級・3級)
- ・パース検定(2級)
- ・商業施設士補
- ・建築積算士補
- ・建築大工技能士(2級・3級)
- ・AutoCAD ユーザー試験
- ・Vector works 認定試験
- ・インテリアコーディネーター

ウ. 工業第二教員室(土木、測量、3DCAD)

- ・1級施工管理技術検定(土木)
- ・車両系建設機械運転技術者
- ・小型移動式クレーン運転者
- ・玉掛け技能者
- ・3次元CAD利用技術者試験(準1・2級)
- ・2次元CAD利用技術者試験(2級)
- ・CSWA 認定試験
- ・CSWP 認定試験
- ・3Dプリンター活用技術検定試験
- ・機械・プラント製図技能士(3級)

エ. 商業・文化教員室(情報ビジネス、リベラルアーツ、グローバル)

- ・日商簿記検定
- ・全経簿記能力検定試験
- ・ビジネス実務マナー検定試験
- ・秘書検定
- ・日本語能力試験
- ・BJT ビジネス日本語能力テスト
- ・MOS 試験(Microsoft office specialist)

オ. 在校生向け特別講座(生涯学習事業)

- (ア) 在校生及び社会人を対象とした二級建築士受験対策講座の開催

- (イ) 在校生を対象とした専門分野の資格試験対策講座及び特別教育講習等の開催
 - ・福祉住環境コーディネーター2級受験対策講座
 - ・丸のこ等取扱作業の安全衛生教育講習
 - ・第二級陸上特殊無線技士養成講座
- (ウ) STEP 施設を活用した各種セミナーや講演会の開催
 - ・ステップアップセミナー(著名建築家を招いた講演会を年3回開催)

(3) 教育機関他との連携強化

高等学校や専門学校などとの教育連携を推進し、相互理解と信頼関係を構築する。
また、公共機関や地域住民との連携についても積極的に推進する。

ア. 高等学校

- (ア) 工業第一教員室(建築、インテリアデザイン)
 - ・第20回 高校生対象コンペティション(本校主催)
 - ・東日本建築教育研究会
 - ・全国設備工業教育研究会
 - ・全国高等学校インテリア科教育研究会
 - ・Facility Studio 建築設備実習室を活用した高校との教育連携
- (イ) 工業第二教員室(土木、測量、3DCAD)
 - ・高校生対象測量士補模擬試験(本校主催)
 - ・群馬県立吾妻中央高等学校連携実習(本校主催)
 - ・東日本高等学校土木教育研究会総会・研究協議会
 - ・機械CAD系コンテスト(本校主催)
- (ウ) 在校生による母校訪問

イ. 専門学校

- (ア) (一社)専門学校 コンソーシアム Tokyo
 - ・夏季教員研修会：8月上旬 会場未定
 - ・教育活動報告会：9月中旬 東京テクニカルカレッジ テラホール
- (イ) 全国工業専門学校協会
 - ・令和7年度 定例総会：6月24日(火) アルカディア市ヶ谷私学会館
 - ・学生による成果報告会：10月上旬 会場未定
- (ウ) 全国専門学校建築教育連絡協議会
 - ・令和7年度 定例総会：6月7日(土) 大阪工業技術専門学校
- (エ) 全国専門学校土木教育研究会
 - ・令和7年度 全国大会：8月20日(水)～21日(木) 日本工学院専門学校
- (オ) 全国専門学校電気・電子教育研究会
 - ・令和7年度 総会：未定

ウ. 公共機関や地域住民

- (ア) 工業第一教員室(建築、インテリアデザイン)
 - ・夏休み 木のおもちゃづくり体験
 - ・王子駅周辺エリアプラットフォーム
 - ・地域密着型実践教育【北海道清水町・瀧野川信用金庫(産学連携協力協定)】
- (イ) 工業第二教員室(土木、測量、3DCAD)
 - ・「“遊び” から始まる体験教室 Ver.4」【小学生対象】
 - ・王子第二小学校 体力テスト支援

- (ウ) 商業・文化教員室(情報ビジネス、リベラルアーツ、グローバル)
 - ・北区立中央公園文化センター国際交流講座
- (エ) 学校施設の貸出事業
- (オ) 法務局・地方法務局測量講習

(4) 保護者との連携(教務課、工業第一教員室、工業第二教員室)

- ・保護者教育懇談会：5月17日(土)【令和7年度運営計画配付】
- ・保護者対象軽井沢研修所施設見学会：6月14日(土)～15日(日)
- ・保護者対象授業参観(後期実施)
- ・保護者通信発送(前・後期)

(5) 学生管理

ア. 出席指導

遅刻・欠席が常態化することのないよう、担任による根気強い指導を行う。

イ. 学籍異動に対する適切な指導(各教員室、教務課)

復学者に対する全員面接を実施し、学習意欲と休学理由解決の確認を行う。

ウ. 学生保険

在校中だけでなく、通学時やインターンシップなどの課外授業等にも適用される24時間対応の保険に加入して保障の充実を図っている。

エ. スクールライフアンケートの実施

新入生を対象にスクールライフアンケートを実施し、学生の性質などを把握に努め個々の学生に合わせた指導に役立てる。

4月 自己発見検査(自身の特徴や持ち味、集中力やモチベーションなどを確認)

7月 スクールライフアンケート(学習意欲や学生生活の状況を確認)

(6) 学生満足度の向上

ア. 新入生アンケート・卒業生アンケート

アンケート結果を学科運営や学生満足度の向上に役立てる。

イ. 授業評価・授業アンケート

学生による授業評価・授業アンケートにより学習満足度の測定を行い、必要に応じ教授方法の共有と改善を行う。

ウ. 成績概況

学籍異動状況・科目平均点・出席率をはじめとした学習状況をまとめ、傾向の考察と改善に向けた対策を講じる。

エ. 入学前教育プログラム(令和8年度入学生対象)

- ・総合型選抜入学生対象の事前学習(令和7年12月より)
- ・インテリアデザイン科入学生対象の春期デッサン講座(令和8年3月下旬4日間)

オ. 付帯施設

学生レストラン「SORA」、購買(ミニコンビニ・教材販売)、駐輪場などの運営などに関する学生からの改善要望などは、教務課が関係部署と連携し必要な改善を図る。

カ. 図書館(RISE)

- ・学生サービスを第一とした運営
- ・利用者のニーズに即応できる選書や配架の整備

キ. 在校生への経済的支援

令和2年度施行された「高等教育の修学支援新制度」や独立行政法人日本学生支援機構各種などの各種奨学金制度の他、本校独自の奨学金制度などに関する情報の周知を図るとともに、相談や申し込みなどに関するサポートを行う。

(7) 防災対策の整備

ア. 避難訓練の実施

(ア) 新入生を対象とした避難場所の確認(4月ガイダンス)

- ・第1次避難場所：王子第二小学校
- ・第2次避難場所：北区中央公園

(イ) 校舎別避難訓練

- ・前期 1・18号館(工業第一教員室、工業第二教員室、商業・文化教員室)
- ・後期 21・23号館(教務課)

イ. 防災備蓄

(ア) 防災備蓄品(学生と教職員等に対し3日分)

- ・14号館地下1階(200個)、17号館1階(1,610個)
- ・消費期限：令和10年

(イ) 防災用トイレ

- ・約27,000回分
- ・使用期限：令和11年

ウ. AED装置の設置

- ・1、2、3、14、16、17、21号館に合計7台

エ. 非常時の学生連絡

非常時等が発生した場合は、本校HP(<https://chuoko.ac.jp>)や入学時に設定したGoogle classroomで連絡する。

【学生手帳 P25】

台風や積雪等により、王子駅を通過する京浜東北線に障害が発生し、通学が困難になった場合の授業実施については、中央工学校のホームページ上にて連絡をする。

ホームページへの掲載時刻

昼間：午前6時

夜間：午後3時

在校中の場合には、その都度連絡する。

※原則として休講はしない。やむを得ず休講(授業打ち切りを含む)となる場合には、代替授業を別途定めて実施する。

※災害等への対応

災害等が発生した場合、必要に応じて対面(通学)授業を遠隔(リモート)授業に切り替え学修(授業)活動を継続する。また、各種実習や学校行事などについては、内容を変更する場合がある。

以 上